



学校だより

令和7年8月27日(水)
第863号
さいたま市立日進小学校
TEL: 663-6942

スイッチ

校長 鈴木 晴雄

今日から2学期。子どもたちの笑顔と笑い声があふれています。夏休みの期間中、大きなけがや事故もなく過ごすことができましたこと、子どもたちの安全確保にご協力いただいた保護者や地域の皆様に感謝申し上げます。

2学期の始業式。子どもたちに「心のスイッチ」という詩を紹介しました。東井義雄氏の著書「自分を育てるのは自分」の中の一編です。夏休みでエネルギーを蓄えた今、子どもたちが「よし やるぞ!」という「心のスイッチ」を入れ、学習や学年・学校行事等に全力でチャレンジする姿を全教職員で応援していきます。

子どもたち一人ひとりのスイッチは「学習スイッチ」「運動スイッチ」「優しさスイッチ」など様々です。「あいさつスイッチ」「整理整頓スイッチ」かもしれません。心のスイッチは、その時、自分が「こうしよう。こうしたい。」と願うスイッチです。心のスイッチが入ったら、自分の足で踏み出し自分のペースで歩み続けることが大切です。この「やる気スイッチON」の状態を保つためには「ほめること」が大切です。自分が頑張っている様子が評価され労われると、心の中のモチベーションが高まり、次に向かうエネルギーへと変化していきます。

子どもたちはみんな「心のスイッチ」を持っています。そのスイッチを入れるのは、誰でしょうか。ほかの人が助けてくれることもあるかもしれませんが、何かのきっかけで入ることがあるかもしれません。「心のスイッチ」の入れ方もそれぞれです。しかし、スイッチを入れるのは、やはり自分自身です。大人が無理に押しても効果はありません。「勉強しなさい。」「本を読みなさい。」「優しくしなさい。」という言葉より、周りの大人が疑問を調べ、本を読み、周囲の人に優しく接する姿を見せることのほうが子どもたちに与える影響は大きいのではないのでしょうか。大人にできることは、きっかけを与えたり支え励ましたりすることです。

「心と体が伸びる充実の2学期」。本当の充実感・達成感、心の底から湧き出る嬉しさや楽しさを味わうには、自分自身で「心のスイッチ」の入れ、物事に全力で取り組むことが必要でしょう。2学期からの合言葉は、「“全力”ing」(今まさに全力で取り組んでいます)。

日進小の子どもたちの成長が楽しみです。「たすけあう子 かんがえる子 たくましい子」の育成に向け、2学期も引き続き、保護者・地域の皆様のご支援ご協力をお願いいたします。